

### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	高齢や障害（個人的な生きづらさ）を持っている方々の外出のためのインフォーマルサービス創出事業	
事業主体 (連絡先)	南信州おでかけチーム”ウィズ” 0265-49-3171(事務局：村松)	
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業	
事業タイプ	ソフト・ハード	
総事業費	1,103,785 円	(うち支援金: 875,000 円)

#### 事業内容

- ◆介護従事者の知っておくべき「新たな外出支援研修会」開催  
高齢や障害（個人的な生きづらさ）に関わらず、誰もが住み慣れた地域で出かけられることを目的に開催。参加者39名。
- ◆公式ホームページ開設  
当チームができるサポートやチームの目的、活動の普及につながる情報などを掲載。カテゴリ別に、①行きたい②食べたい③住みたい④叶えたいの枠を設け、今後協力店舗や企業を募っていく。
- ◆モニターツアーの実施  
チームの活動普及用のパンフレットを制作し介護従事者などに配布。地域の興味あるコンテンツの中から、右記のユニバーサルイベントを開催。プレミアムサポート（車いすユーザーの歩行やトイレを支援）を参加者や介護従事者に体験いただいた。
- ◆車いす用けん引補助装置を購入・活用  
介護従事者向けのデモンストレーション（外出向き/避難向け）に利用。次年度は、教育・介護・福祉・観光などの場で活用できるように関連機関や地域住民向けに働きかけを行う。



【ユニバーサルイベント開催】  
車いすで行く！ヘブンスそのはら紅葉と森林セラピーロード

#### 【目標・ねらい】

- ①当地域におけるインフォーマルサービスやユニバーサルツーリズムの醸成
- ②年齢や障がいの有無に関係なく、誰もが楽しめる地域の創造
- ③自組織のみでは叶わない取組を多様な関係者と連携して行う仕組みづくり
- ④情報発信、普及活動による地域住民への働きかけ

※自己評価【A】

#### 【理由】

長野県の担当者や、観光庁の担当者より、「観光だけでなく、介護・福祉・医療・教育の現場とも連携が取れる部局横断的な取組」と評価いただいた。次年度は、連携する団体や施設、店舗を着実に増やし、「お出かけ事例の創出」をはかっていく。

#### 事業効果

- ①南信州地域においてはこれまでほとんど活動が見られなかったユニバーサルツーリズムにおいて基礎情報を関係者に発信することができた。新聞などの報道により高齢者や障害当事者、介護従事者より問合せもあった。
- ②介護従事者向けの研修会では、飯田市福祉部長、阿智村長、南信州地域振興局商工観光課長にも参加いただき、想定以上の参加者数を集めることができ、官民それぞれへの情報発信ができ、今後の活動の礎となった。
- ③自組織では叶わなかった車いすけん引装置の購入ができ、様々な場面で、道具やサポートによって、これまで不可能だと思われていた外出が可能となることを多くの人々に知ってもらうことができた。
- ④モニターツアー（ユニバーサルイベント）や研修会を通じて、高齢者や障害当事者、その家族・関係者、介護従事者、医療従事者など多くの方々へ情報が届き、一緒に活動を行う仲間も増え、今後に自信が持てた。

#### 今後の取り組み

長野県観光部の掲げるビジョンに「ユニバーサルツーリズムで信州から社会を変える！」という言葉がある。ユニバーサルツーリズムやインフォーマルサービスの推進は障害当事者やその家族・関係者に向けた意義や取組だけに留まらず、受け入れる地域が変わっていくということでもある。高齢や病気・障害を理由に「これが家族との最後の旅行しれない」という思いで旅行に出かける方々を受け入れるうえで地域住民との関りは欠かせない。今後は、観光・福祉・介護・教育・インフラ（交通・公的施設）・商工業などの垣根を越えて多様な関係性を築き上げることにより、高齢や障害の有無に関係なく、誰もが気軽に楽しめる地域を目指す。またその結果としての、新たな機会やビジネスや支援の創出を目指していく。障害当事者や歩行弱者・旅行弱者の協力も得ながら、モニターツアーやイベントも開催し、様々な事例を経験することによる知見を得ながら、活動の領域や裾野を広げていきたい。